

## 日本口腔顔面痛学会 News Letter

【特集号】研修施設紹介①

(2021年1月25日発行)

日本口腔顔面痛学会理事長 松香 芳三

広報委員会委員長 井川 雅子

NL47号の千堂良造先生による九州歯科大学・ペインクリニックの研修報告が好評であったことから、他の研修施設にも自己紹介とアピールをお願いいたしました。NL掲載を希望された施設のみですが、順次発行していきます。第1号は「日本大学松戸歯学部付属病院 口・顔・頭の痛み外来」です。

### 日本大学松戸歯学部付属病院 口・顔・頭の痛み外来

研修施設責任者 小見山 道

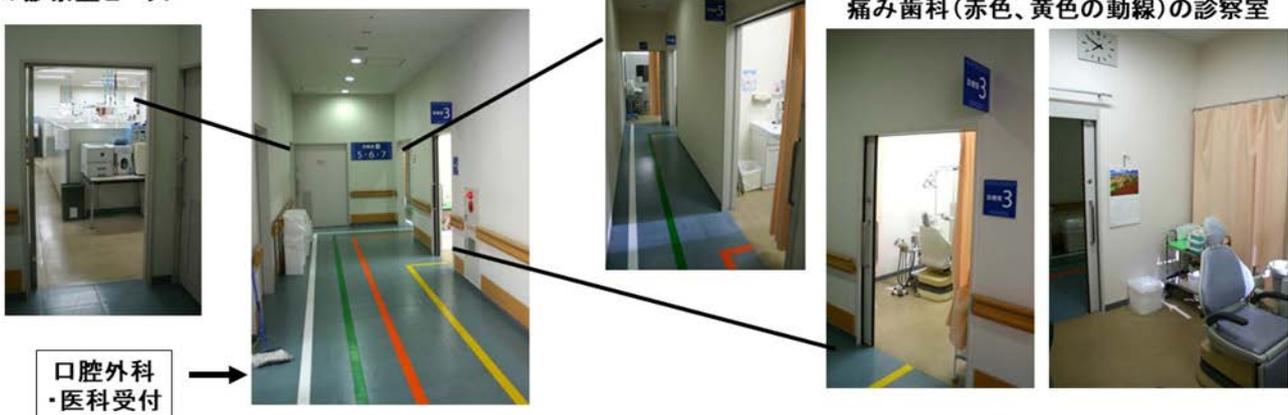
日本大学松戸歯学部付属病院において口腔顔面痛に関する診療は「口・顔・頭の痛み外来」が担当をしている。「口・顔・頭の痛み外来」の一番の特徴は隣接する診療室で歯科と医科の医師が並行して診療を行っていることである。医科においては脳神経外科、耳鼻咽喉科医が常勤にて診療を行い、月に1度精神科医も診療を行っている。また、歯科においても口腔顔面痛学会専門医のみならず、多くの診療医員は日本補綴歯科学会専門医、日本口腔外科学会専門医、日本顎関節学会専門医、歯科麻酔専門医等の隣接する分野の専門医を取得している。これらの利点を活かし、一人の患者に対して必要に応じて複数の診療医員が医科も含めて診療に関与することで複数の病院を受診することなく1つのフロアで受診が可能な環境を構築している。

#### 口・顔・頭の痛み外来 (受付から数歩で歯科、口腔外科、歯科麻酔科、医科の診療室にアクセス可能)

口腔外科、麻酔科  
の診療室とベッド

痛み医科(緑の動線)、  
耳鼻・咽喉科(白の動線)の診療室

痛み歯科(赤色、黄色の動線)の診療室



当外来における1年間の初診患者数は約1200名であり、内訳は顎関節症が約800名、舌痛症が約150名、頭痛が約50名、神経痛が約50名、その他50名である。近隣の開業医から紹介状を持参して来院する患者が多く、当外来は微力ながら二次医療機関として地域医療に貢献をしている。病院内においても他科の医局会等で講演を行うことにより、他科の口腔顔面痛に対する知識の涵養を図った結果、病院内においても他の診療科からの紹介をいただき、病院内の診療効率の向上に貢献をしている。

特徴的な診療としては「舌痛症友の会」による認知行動療法が挙げられる。これは、舌痛症を有する患者さんに対して希望者を登録し、年に1回の頻度にて郵送にて参加者を募り、午後からの3時間程度で「舌痛症友の会」という場を設けている。集団による簡易な認知行動改善療法として考えており、舌痛症を有する患者さん同士で情報を共有できる環境を構築し、心理社会的因子で慢性化した舌の疼痛軽減に効果を上げている。

最後に、当診療科では事前の連絡があれば見学も可能であるので、興味がある方は連絡いただきたい。

---

## 【日本大学松戸歯学部付属病院 口・顔・頭の痛み外来】

[https://www.mascap.nihon-u.ac.jp/hospital/guide/25\\_itami.htm](https://www.mascap.nihon-u.ac.jp/hospital/guide/25_itami.htm)

1

住所：〒271-8587 千葉県松戸市栄町西 2-870-1

電話番号：047-360-7111

初診受付時間：（平日）午前 9:00～午前 11:00 （土曜日）午前 9:00～午前 10:00

### 診療スタッフの紹介

氏 名		
外来責任者	牧山 康秀	
医員	西村 均, 内田 貴之, 大久保 昌和, 下坂 典立, 飯田 崇, 本田 美加	
医員	丹羽 秀夫	
	痛み歯科	痛み医科
月曜日	大久保・飯田	牧山・丹羽
火曜日	下坂	牧山・丹羽
水曜日	石井	牧山・丹羽
木曜日	西村・小見山・飯田・本田	牧山・丹羽
金曜日	内田・小見山	牧山
土曜日	下坂	牧山

---

日本口腔顔面痛学会 News Letter へのお問い合わせは

「日本口腔顔面痛学会事務局」まで

〒135-0033 東京都江東区深川 2-4-11 一ツ橋印刷株式会社学会事務センター内

TEL: 03-5620-1953, FAX: 03-5620-1960 E-mail: jsop-service@onebridge.co.jp